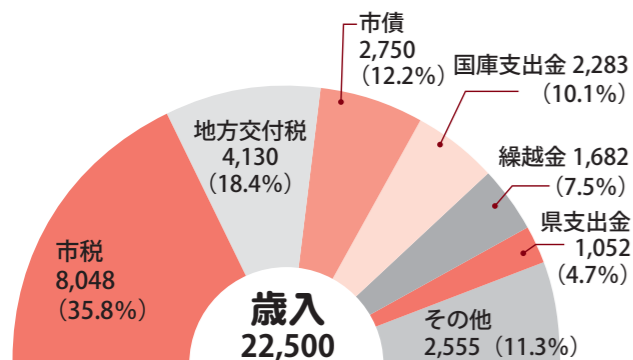
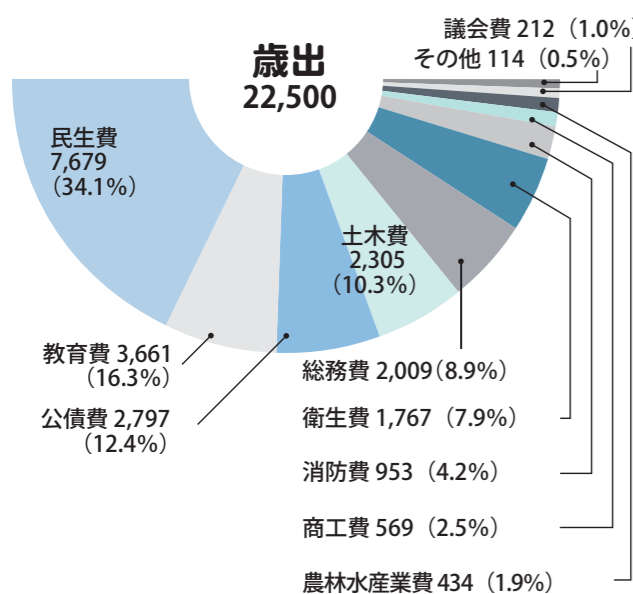


能美市の予算と施策

問い合わせ 財政課 (TEL 58-2203)



一般会計 歳入・歳出 (単位：百万円)



特別会計・企業会計 当初予算

特別会計	
国民健康保険特別会計	45 億 8,800 万円
後期高齢者医療特別会計	6 億 110 万円
介護保険特別会計	42 億 6,940 万円
温泉事業特別会計	1,710 万円
農業集落排水事業特別会計	1 億 630 万円

企業会計		
水道事業会計	収益	9 億 3,240 万円
	資本	6 億 9,550 万円
工業用水道事業会計	収益	4 億 1,180 万円
	資本	5 億 1,390 万円
公共下水道事業会計	収益	16 億 2,440 万円
	資本	16 億 190 万円
市立病院事業会計	収益	25 億 5,760 万円
	資本	4 億 3,650 万円



特別会計は国民健康保険など一般会計とは区別が必要な事業の会計。企業会計は水道など料金収入で運営している事業のことだよ。

歳入

市税は、雇用と所得環境の改善が継続しており、企業誘致と企業の業績が好調であることから、個人・法人市民税はともに増収を見込んでいます。固定資産税は、地価下落の影響で土地の減収を見込んでいますが、家屋は新增築分で、償却資産は企業の設備投資の伸びを背景に増収を見込んでいます。市税の総額では、対前年度2億1,700万円、2.8%増の80億4,800万円となりました。

地方交付税は、国の地方財政計画、市税の増収見込みなどを考慮し、対前年度比7,000万円、1.7%減の41億3,000万円としたほか、市債は、臨時財政対策債の減などを見込み対前年度比1億2,830万円、4.5%減の27億5,020万円としました。

歳出

民生費は、辰口中央児童館の完成などにより、対前年度比4億2,620万円、5.3%減の76億7,900万円を計上しました。

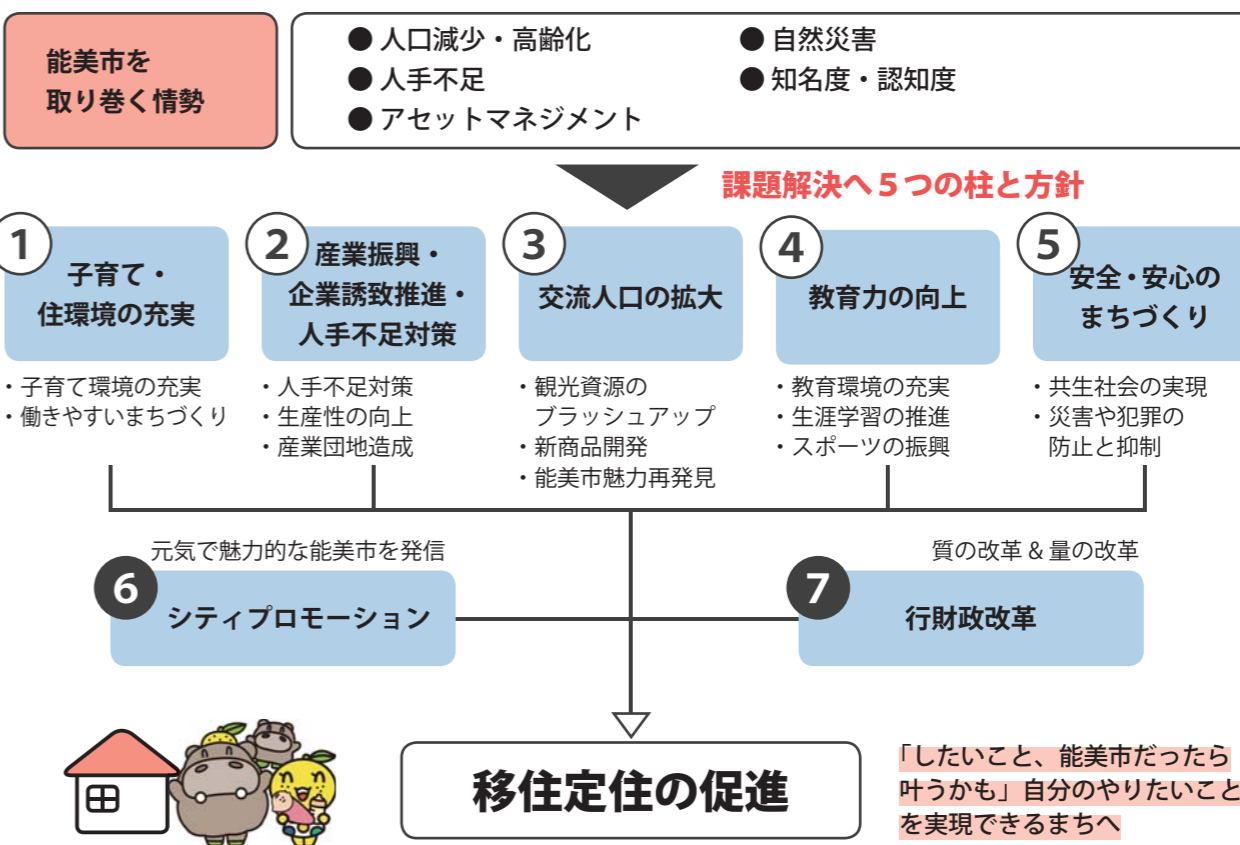
土木費は、寺井地区都市再生整備計画事業の進捗により事業費が減少することなどから、対前年度比3億8,728万円、14.4%減の23億538万円を計上しました。

教育費は、宮竹小学校大規模改造事業や博物館建設事業などにより、対前年度比11億7,377万円、47.2%増の36億6,125万円を計上しました。

公債費は、過去の大型事業の償還完了や利率の高い起債の償還が進んだことから、対前年度比2億5,663万円、8.4%減の27億9,666万円を計上しました。

予算編成の方針

新年度予算は、喫緊の課題である人口減少・高齢化の進展、人手不足、災害の脅威、公共施設等の老朽化の解決に向けて「子育て・住環境の充実」、「産業振興・企業誘致推進・人手不足対策」、「交流人口の拡大」、「教育力の向上」、「安全・安心のまちづくり」の5つの柱を重点施策として掲げ、これらを「シティプロモーション」、「行財政改革」の2つの方針で補完し、すべての施策が「移住・定住」の促進につながるよう編成しました。



平成 31 年度
一般会計 225 億円
(前年度比△1 億 3,000 万円 △0.6%)

予算総額 408 億 5,590 万円
(一般会計・特別会計・企業会計を合わせた予算額
対前年度比△4,120 万円 △0.1%)

予算の全体像とポイント

平成 31 年度当初予算の一般会計、特別会計、企業会計の予算総額は、408 億 5,500 万円余と対前年度比 4,100 万円余、0.1%の減となりました。このうち一般会計の総額は、歳入歳出それぞれ 225 億円となり、前年度当初予算と比較し、1 億 3,000 万円、0.6%の減となっています。



① 子育て・住環境の充実

(1) 子育て環境の充実

- **子ども・子育て支援推進事業 (100万円)**
特色のある教育・保育サービスの充実を図るための幼保連携型の導入も視野に入れ、運営形態等の方向性を検討します。保育園のお便り、写真などをタブレット端末からご覧いただけるシステムをモデル的に試験導入します。
- **子ども育成体験推進事業 (214万円)**
地域に根付いた特色ある体験活動を取り入れた教育・保育を実施し、心身ともに健康な子どもの育成を図ります。子どもと関わる現場の専門職を対象としたワークショップの開催も支援します。
- **母子・児童丸ごと支援事業 (130万円)**
妊娠期から18歳までの切れ目のない支援のため、システムを導入するほか、教育相談機能の一部をふれあいプラザに移管し、相談支援体制を強化します。
- **子宝支援給与金支給事業 (1,500万円)**
市内在住1年以上のご夫婦の特定不妊治療の医療費の補助率を1/2から2/3に上げます。
- **粟生児童館増築事業 (1億5,660万円)**
放課後児童クラブの利用者数の増加により手狭になっていることから、クラブ室を増築します。



(2) 住環境の充実

- **里山イノベーション事業 (575万円)**
将来にわたり住み慣れた場所で暮らし続けられるよう、東部地域の住民の方が主体となり考える地域デザインの策定を支援します。



② 産業振興・企業誘致推進・人手不足対策

(1) 女性の活躍の推進

- **ワーキングナビ応援事業 (50万円)**
就職や再就職を希望する女性を対象にワークショップやセミナーを開催することで、就職への不安を解消し、就労意欲を高めます。
- **チャレンジスキル支援事業 (100万円)**
結婚、出産、子育て、介護などで離職した女性が市内企業に再就職するために必要な資格や免許の取得を支援します。
- **プレ・ワーク応援事業 (24万円)**
市内企業に就職を希望する女性が自信をもって就職ができるよう、身だしなみや心得について学ぶ講習会を開催します。
- **ライフシェア支援事業 (26万円)**
女性が働きやすい環境づくりを支援するため、家庭における家事・育児分担を見直し男女のワークライフバランスをすすめます。



(2) 人材の確保

- **U・I・Jターン就職促進事業 (478万円)**
早い段階で学生と企業が接する機会を創出し、リクルート活動を支援するため、企業のインターンシップを支援します。
- **就職説明会開催支援事業 (98万円)**
人材採用、人材育成、外国人雇用、インターンシップなどのセミナーを開催し、市内企業の人事担当者のスキルアップを支援します。
- **市内事業者魅力PR事業 (100万円)**
市ホームページ上に働く若手を紹介する特設ページを設けて、市内企業の魅力を発信することで、人材確保を支援します。



(3) IoT・AIの推進

- **IT活用促進支援事業 (221万円)**
市内企業がIoTの導入や新製品の開発のため、大学などと連携して実施する調査・研究や、業界の課題を解決するためのコンサルティングを支援します。
- **小規模事業者支援事業 (150万円)**
キャッシュレス化や多言語化など、店舗の新たな魅力アップにつながる投資を支援します。



(4) 特産品の振興

- **九谷焼後継者育成支援事業 (375万円)**
九谷焼の後継者育成と市内定着を図るため、九谷焼担い手職人支援工房入居者のロクロや窯などの購入を支援します。
- **スマート農業導入支援事業 (50万円)**
無人トラクター、スマートフォンを活用した^{かんがい}灌漑などのロボット技術やICTを活用した新たな農業を実演する講習会を開催します。
- **加賀丸いも生産拡大支援事業 (300万円)**
加賀丸いもを後世に継承するため、機械化による省力化、作付け農地の確保などへの取り組みを支援します。
- **6次産業推進事業 (224万円)**
農業者・農業団体や農工商連携による事業者などが実施する6次産業化の取り組みを支援し、新たな特産品の開発、農業者所得の向上、地域産業の活性化を図ります。



③ 交流人口の拡大

(1) 観光資源のブラッシュアップ

- **宿泊施設改修助成金 (1,000万円)**
バリアフリー化、多言語化、コンベンション機能強化などに対応するための宿泊施設の改修を支援します。
- **賑わい施設等立地促進助成金 (300万円)**
魅力ある飲食店などの開業にかかる費用を支援します。



(2) 連携事業の強化

- **小松・能美連携観光推進事業 (1,000万円)**
小松市と連携して九谷焼をテーマとした各種事業を展開し、ブランド力アップを目指します。
- **加賀立国1200年記念事業 (100万円)**
小松市と連携して古墳をテーマとした「古墳探訪ツアー」を開催するなど魅力を発信します。

(3) 魅力の発信

- **観光地ブランド化推進事業補助金 (300万円)**
女性や若者向けの九谷焼アクセサリなどの製作・販売や、北陸三県の民放を活用した情報発信の強化により、誘客を図ります。
- **能美市検定実施事業 (564万円)**
合併15周年の記念誌として観光ガイドブックを兼ねた「のみ検定」の参考書を作成し、市内外の方へ能美市の魅力をお伝えします。
- **日本代表選手合宿誘致事業 (85万円)**
日本ナショナルチームやトップアスリートが所属する実業団チームの合宿を誘致し、東京オリンピック・パラリンピックの気運の醸成を図るとともに、ジュニア世代(小～中学生)を対象としたスポーツ教室を開催し、子どもたちが日本トップレベルの選手と接する機会を創出します。





(3) 共生社会の実現

- ・「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業 (2,362 万円)
あんしん相談センターの拡充と相談支援包括化推進員の配置により相談支援体制を強化するとともに、コミュニティソーシャルワーカーの配置により地域の強い互助づくりを推進するなど、「我が事・丸ごと」の地域共生社会の実現を目指します。
- ・医療的ケア児サポート事業 (65 万円)
医療的ケア児を抱えるご家族の身体的・精神的・経済的負担を軽減できるよう、レスパイトケア（介護している家族に休息を提供するための社会サービス）の利用を支援します。
- ・外国人にやさしいまちづくり事業 (1,640 万円)
新たに能美市国際交流協会を設立し、日本語学習や在住外国人との交流機会を充実させることにより、多文化共生を推進します。



6 シティプロモーション

- ・シティプロモーション戦略策定 (2,041 万円)
マーケティング、デザイン、SNSなどについて、専門家のアドバイスや提案を取り入れた戦略的なプロモーションに取り組むほか、市のPR動画、パンフレット、資料用ポリバッグ、キャラクターグッズを作成するなど、情報発信の質の向上と発信力の強化を図ります。
- ・ご当地ポスト設置事業 (254 万円)
郵便ポストに能美市の伝統と技術が融合した装飾を施すことにより、「ものづくりのまち」をアピールします。
- ・シティプロモーション連携事業 (100 万円)
公式キャラクターやロゴマークを使用した商品の製作、トラックラッピング広告などの市の魅力を効果的に発信する活動を支援します。
- ・広域連携によるプロモーション推進事業 (380 万円)
小松市と一体となって都市圏や海外へのプロモーション活動を展開します。
- ・公共サイン整備事業 (310 万円)
郷土愛を高め、市外への発信力もある公共施設の名称や愛称を検討するほか、公共サインのガイドラインを整備します。
- ・オリジナルナンバープレート交付事業 (44 万円)
公式キャラクター「ひぼ能ん・ゆず美ん」の図柄が入った原動機付自転車などのオリジナルナンバープレートを作成します。



7 行財政改革

- ・外国人にやさしい窓口相談強化事業 (121 万円)
外国人専用相談窓口を整備するとともに、多言語で窓口対応を行えるようタブレットを活用したテレビ電話通訳サービスを導入します。
- ・我が事・丸ごとユニバーサル推進事業 (66 万円)、各施設工事費 (62 万円)
辰口福祉会館に自動音声案内装置を設置するとともに、寺井地区公民館と根上総合文化会館に「いしかわ支え合い駐車場」を整備するなど、あらゆる人に配慮した公共施設の福祉設備の充実を図ります。

※その他の主な事業は、ホームページ中に「平成31年度能美市予算のあらまし」を掲載しておりますので、そちらもご覧ください。



4 教育力の向上

(1) 安全・安心で充実した教育環境

- ・宮竹小学校大規模改造事業 (2 億 580 万円)
2か年の計画で工事を実施します。平成31年度は外装・内装、トイレ、空調設備、サッシを改修します。
- ・視聴覚機器等活用モデル事業 (697 万円)
「1日1回学校でパソコンやタブレットを使って学習できる学校」を目指し、ICT機器や無線LANの環境を計画的に整備するとともに、タブレット端末を効果的に取り入れた授業を実践します。
- ・スクールサポートスタッフ配置事業 (384 万円)
教職員が児童生徒への指導や教材研究などに注力できる時間を確保するため、配付物の印刷や会議の準備などの事務作業を補助するスクールサポートスタッフを配置します。



(2) 文化・スポーツの振興

- ・粟生運動公園ソフトボール場夜間照明新設工事 (7,380 万円)
粟生運動公園ソフトボール場にナイター照明設備を設置します。
- ・物見山運動公園施設整備事業 (4,200 万円)
物見山運動公園テニスコート2面を改修するほか、公園内の遊具を更新します。



(3) ふるさと愛の醸成

- ・博物館建設事業 (11 億 5,547 万円)
2020年秋のオープンに向けて、新博物館の建設工事を進めます。
- ・みんなで作る博物館プロジェクト (150 万円)
九谷焼タイル作成、ハニワ作り体験、自然観察会などに加え、新たに金沢学院大学と連携することでイベントなどの充実を図ります。

5 安全・安心なまちづくり

(1) 消防・防災力の強化

- ・消防車両等購入事業 (8,869 万円)
辰口分署の高規格救急自動車（能美救急3）と根上分署の消防ポンプ自動車（能美1）を更新します。
- ・防犯カメラ設置補助事業 (100 万円)
地域における防災力の向上を図るため、町会・町内会の防犯カメラの設置を支援します。
- ・我が事・丸ごと防災プロジェクト事業 (720 万円)
防災センターを防災学習拠点として活用し、多彩なセミナーや企画展示などを開催します。



(2) 災害に強いまちづくり

- ・危険木伐採工事費等助成事業 (200 万円)
土砂災害警戒区域内における倒木被害を未然に防ぎ、生命・財産を守るため、危険木の伐採・撤去を支援します。
- ・道林高坂線道路改良事業 (2,060 万円)
大型トレーラーなどの交通量が多い高坂交差点の事故発生リスクの低減させるため、歩道・車道を拡幅します。
- ・こくぞう里山公園防災対策事業 (8,533 万円)
土砂災害警戒区域に指定されている和気小学校背後地の土砂災害対策工事を実施します。